

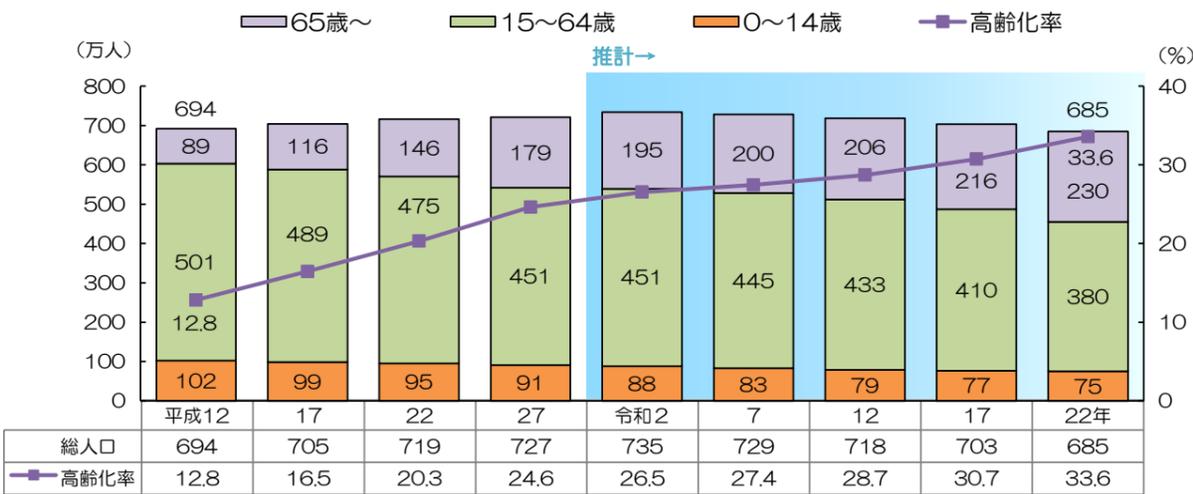
松伏町を取り巻く社会情勢・時代の潮流

人口減少社会と少子高齢化

国・県

- ◆日本の人口は、平成20年（2008年）を境に人口減少局面に入り、今後50年間で人口が約3割減少すると予測されています。
- ◆埼玉県は、人口増加が続いていますが、令和7年（2025年）には人口減少に転じることが予測されています。
- ◆埼玉県の年齢3区分別人口は、年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）は減少が続いています。高齢者人口は増加が続き、推計では令和22年（2040年）の高齢化率は33.6%、3人に1人は高齢者となることが見込まれます。

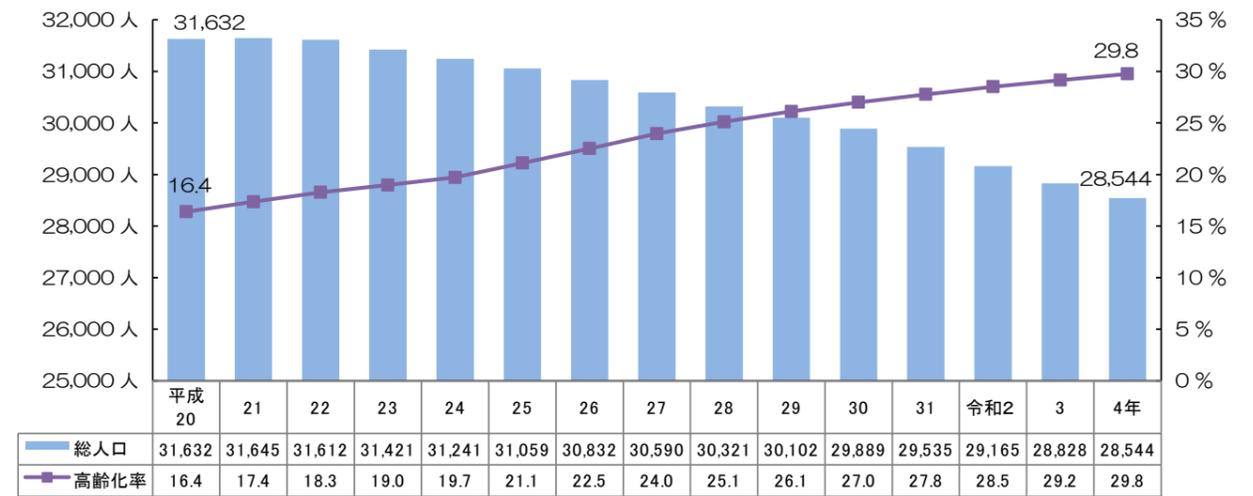
埼玉県の人口(埼玉県5か年計画より)



町

- ◆町の人口は、平成21年（2009年）をピークに人口減少が続いており、ピーク時から令和4年（2022年）まで3,101人が減少し、今後も減少傾向が続くと予測されます。
- ◆高齢化率は、令和4年29.8%ですが、県の東部地域の中では春日部市（31.1%）に次いで高い割合であり、さらに高齢化率の高まりが予測されます。

松伏町の総人口・高齢化率の推移



資料：埼玉県町（丁）字別人口調査（各年1月1日現在）

人口構造の変化

人口減少時代が到来するなか、全国で急速に少子・高齢化が進行しています。松伏町においても年少人口（0～14歳）、生産年齢人口（15～64歳）の大幅な減少が見込まれており、子育て世帯向けの施策、人口減少対策を重点的に進める必要があります。

経済・労働環境の変化への対応

近年、新型コロナウイルス感染症の影響等によりオンライン化やリモートサービス、移動・運搬サービスへの需要が急拡大しています。働き方においてもテレワークが浸透し、会社のあり方や業務の進め方にも変化を及ぼしています。松伏町においても変化に合わせた職住近接のニーズの高まり等への対応が求められます。

情報通信技術(ICT)の飛躍的な進展

情報通信技術（ICT）の飛躍的な進展に伴い、町民の日常生活や行政サービスは大きく変わりつつあります。松伏町においても情報通信技術を活用し、業務改善を行うDX（デジタルトランスフォーメーション）を推進していく必要があります。

地球環境負荷の軽減

地球温暖化など人類が生存し続けるための基盤となる地球環境は限界に達しつつあり、脱炭素社会の構築など環境負荷の少ない社会を目指していく必要があります。松伏町においてもカーボンニュートラルの実現に向けた取組を推進する必要があります。

安全・安心への意識の高まり

近年、激甚化する風水害や土砂災害が頻発しており、大規模自然災害への対応が全国的に求められています。松伏町においても地域特性を考慮し、災害が起きた場合でも迅速に復旧・復興ができるよう安全・安心なまちづくりを進める必要があります。

SDGs との調和

SDGs は国連で選択された国際社会全体の開発目標です。持続可能な世界を実現し、地球上の誰一人として取り残さないことを誓い、17の目標が掲げられています。第6次総合振興計画においても施策展開にあたってSDGs との整合を図ります。